

安全・安心科学技術プロジェクト

資料1

科学技術・学術審議会 研究計画・評価分科会
安全・安心科学技術委員会(第14回)H20.8.1

平成20年度予算 : 625百万円
(平成19年度予算額) : 405百万円

第3期科学技術基本計画を踏まえた基本的な考え方

- 「社会・国民に支持され、成果を還元する科学技術」の実現
- 経済的価値のみならず安全・安心な社会の構築への貢献など社会的価値の創出を目指し、研究開発の成果を通じたイノベーションを実現

重要研究開発課題の研究開発を進めることにより、国家安全保障、国民生活の安心と安全確保への貢献を目指す。また、この取組みを通じ、安全・安心に資する科学技術推進のための拠点の整備、関連研究者等のネットワークの構築を図る。

重要研究開発課題の研究開発

○ テロ対策等に係る研究開発

我が国においても、テロ対策、危機管理等に関する技術の強化が必要である。これまで蓄積された基礎研究の成果を積極的に活用するため、大学・研究機関が現場と連携してテロ対策等に係る研究開発を実施。

【平成19年度採択プロジェクト】

《危険物検知》

- ・ウォークスルー型爆発物探知システム(日立製作所)
- ・ミリ波パッシブ撮像装置の開発(東北大学)
- 《危険物質拡散・被害予測シミュレーション》
- ・有害危険物質の拡散被害予測と減災対策研究(東京大学)

【平成20年度採択プロジェクト】

《化学剤・生物剤のリアルタイム検知装置》

- ・生物剤検知用バイオセンサーシステムの開発(大阪大学)
- ・生物剤リアルタイム検知システムの開発(東芝)
- 《爆発物検知(1年間のフェージビリティスタディ》
- ・バリエーション放電/質量分析による爆発物検知(FS)(山梨大学)
- ・赤外吸収によるペットボトル中液体爆発物の検知技術の開発(FS)(大阪大学)

○ 地域社会の安全・安心の確保に係る研究開発

平成19年7月の安全・安心科学技術委員会の提言「安全・安心科学技術の重要研究開発課題について」を踏まえ、平成20年度から新たに、地域社会において安全・安心を確保するため、技術開発に留まらず、地域社会を具体的なユーザーとして、現場で科学技術のシステム化を図るモデル事業を実施。

【平成20年度採択プロジェクト】

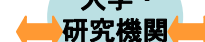
《災害時における地域の安全・安心の確保のための情報システムの構築》

- ・住民・行政協働ユビキタス減災情報システム(山梨大学)
- ・地域水害リスクマネジメントシステムの構築と実践(熊本大学)
- ・時空間処理と自立協調型防災システムの実現
(独)防災科学技術研究所)

地方
自治体
／
住民



大学・
研究機関



情報システム



安全・安心に関わる知・技術の共有化

個々の研究開発プロジェクトで得られた知見と人脈を集積し、整理・蓄積するとともに、これらの情報を、ニーズを持つ官庁や各分野の研究拠点にフィードバックする。また、安全保障に係る研究情報の公開の在り方等について検討を行う。